

平成30年度
豊橋市市民協働推進補助金
事業報告会



令和元年6月28日（金）13時～
豊橋市役所 市民ギャラリー

目次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	三ツ相町居場所づくりの会	三ツ相町居場所づくりの会	1
つつじ	あさひ元気会	あさひ元気会	2
つつじ	豊橋陸軍墓地清掃奉仕会	豊橋陸軍墓地清掃奉仕	3
つつじ	ガールズジェネレーションフォーエバー	友だちになろうコンサート	4
つつじ	アロハキッズヨガ とよはし	アロハキッズヨガを体験しよう！	5
つつじ	芦原校区防災・減災推進委員会	平成30年度 第8回芦原校区・芦原小学校合同防災訓練	6
つつじ	今橋歴史塾	今橋歴史塾主催 公開講演 愛知大学 山田邦明先生 「今橋城の歴史」	7
つつじ	東三河防災クラブ	暮らしの中で考える防災・減災	8
つつじ	とよはし手話フェスティバル実行委員会	とよはし手話フェスティバル	9
つつじ	ちいきカフェたけのこ	ちいきカフェでの子どもと高齢者の居場所交流場所づくり	10
つつじ	一般社団法人松ぼっくり	地域子育て互助活動ボランティア養成&実践講座	11
くすのき	豊橋太鼓連合会	10周年記念ええじゃないか！豊橋和太鼓フェスタ	12
くすのき	エキサイティング・シニア・カーニバル実行委員会	エキサイティング・シニア・カーニバル in TOYOHASHI 2018」	13
くすのき	木好きらく会	第3回おもしろいがいっぱい！モノづくりフェスティバル in 豊橋	14
くすのき	豊橋こども食堂*なかよし	豊橋こども食堂*なかよし	15
くすのき	天伯団地「支え合い活動ひだまりの会」	天伯団地「支え合い活動ひだまりの会」	16
くすのき	音楽まつり実行委員会	音楽まつり	17

- ・つつじ補助金 設立後5年未満 補助率 10/10 上限5万円
- ・くすのき補助金 設立後2年以上 1回目 補助率 2/3
2回目 補助率 1/2
3回目 補助率 1/3 3回とも上限30万円

平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート



事業名等	三ツ相町居場所づくりの会
団体名	三ツ相町居場所づくりの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事 業を実施した場 合は、実施日時及び 参加者数を必ず記 入してください。</p>	<p>①開催日 第4水曜日 PM2:00~4:00</p> <p>②内容</p> <p>4/25 参加者25名 健康体操、花餅づくり</p> <p>5/23 参加者23名 健康体操、紙で作る蝶々</p> <p>6/27 参加者32名 健康体操、ゴキブリ団子づくり</p> <p>7/25 参加者37名 健康体操、苔玉づくり</p> <p>8/22 参加者29名 健康体操、消しゴムを使ったハンコづくり</p> <p>9/26 参加者27名 健康体操、毛糸を使ったボックスづくり</p> <p>10/24 参加者39名 健康体操、五平餅の試食会</p> <p>11/28 参加者21名 健康体操、松ぼっくりのクリスマスツリー</p> <p>12/26 参加者35名 健康体操、ミニ門松づくり</p> <p>1/23 参加者26名 健康体操、ボンボンづくり</p> <p>2/27 参加者30名 健康体操、お手玉づくり</p> <p>3/27 参加者25名 健康体操、フラワーボールづくり</p> <p>③開催前にスタッフによる事前勉強会の開催 開催前日夜約2時間勉強会の実施参加人員9~11名 総事業費:122,445円(内補助金:50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した 結果、どう変わっ たかなど)</p>	<p>1 おしゃべりクラブに参加するのが楽しみに毎回参加する方もいる。</p> <p>2 参加して体操、ものづくりを面白い、楽しいと言ってくれる人が多くいる。</p> <p>3 日々の散歩で出会うとお互いに挨拶など声を掛け合うのが増えて皆さん明るく元気になったように見える。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課 題、今後の取組み など)</p>	<p>・継続して活動していく</p> <p>課題</p> <p>・現在の開催場所では35名までが限界で参加者が増えた場合の対応</p> <p>・健康セミナー等の開催</p> <p>・参加したくても参加をためらっている人への声掛け</p>



事業名等	あさひ元気会
団体名	あさひ元気会

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>豊橋市在住の各種講師（フラダンス、健康管理など）の先生をお招きして、毎月1回最終週の金曜日を定例会として、年間12回実施することができた。</p> <p>総事業費:94,700円(内補助金:50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>あさひ元気会を実行した結果については、人と人のつながりができて、徐々にではあるが参加者の和が広がり、口コミで人数が増加している。</p> <p>また、月に1回開催のあさひ元気会を楽しみにしている参加者が多い</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>あさひ元気会を発足後、2年が経過するが、事業内容のマンネリ化とまらないような講師の選定に留意していく必要がある。</p>



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	豊橋陸軍墓地清掃奉仕
団体名	豊橋陸軍墓地清掃奉仕会

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事 業を実施した場合 は、実施日時及び 参加者数を必ず記 入してください。	豊橋陸軍墓地(豊橋市東田町字西前山桜ヶ丘公園隣)に於ける清掃を 次のとおり実施した。 ① 定例清掃(参加者数:7~20名程度) H30年5,6,7,8,9,11,12月、H31年1,2,3月 (全て第一日曜日午後/計10回) 雨天により11月は前日、3月は後日役員にて清掃 ②合同清掃(参加者数:50名程度) H30年10月7日(日)午前 参加団体等:(公社)隊友会、(公社)偕行社、陸上自衛隊豊川駐屯地修身会、元県会議 員、市民、当会会員 総事業費:62,736円(内補助金:50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した 結果、どう変わっ たかなど)	①SNS(Facebook, Twitter等)による事業告知等を継続したため、総合的に新規参加 者が増加した。 ②上記①により、歴史的、文化的な財産である豊橋陸軍墓地の存在やその意義の社 会的認知が広まった。 ③事業の定期実施により歴史的、文化的な財産である豊橋陸軍墓地の景観および保 全を維持することができた。 ④周辺環境の保全、および地域安全の向上に寄与した。 ⑤地域美化活動の喚起とともに、祖先を敬い戦病没者を偲ぶ心、郷土を愛する心の 醸成につながった。
今後の見通し (事業実施後の課 題、今後の取組み など)	この度の事業実施では、補助金による清掃用具の充実も相まって相応の効果を得ら れたため、今後も精力的に実施していきたい。 公園緑地課の許可を得て、隣接する桜ヶ丘公園に臨時駐車場を設ける場合、カラー コーン(+コーンバー)で安全処置を行わなければならない、扱うものが増えたため車 での運搬もままならず、倉庫の設置を市の資産経営課に許可の依頼をしたが、所 有の東海財務局からは許可が頂けたものの、管理の市からは許可頂けていないので、 活動の効率化を図るためにも倉庫の設置をしたい。 また、より効果の向上を目指すために「くすのぎ補助金」への取り組みを検討した い。



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	友だちになろうコンサート
団体名	ガールズジェネレーションフォーエバー

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>4・26 デイサービスぬくもりとんぼ 5・16 デイサービス綺羅でライブ 7・13 子ども発達センター 8・18 障害者自立支援施設ソレイユ 8・24 なごみ作業所 9・15 障害者自立支援施設カフェ和み 10・17 生活介護施設さくら 11・25 生活介護施設ふたば、生活介護施設ピリーフ 12・2 ココニコ「夢フェスティバル」12・9 豊橋育成会「クリスマス会」 12・28 なごみ作業所 3・2 障害者自立支援施設カフェ和み3・20 豊橋市民病院 各施設でライブを行った。 総事業費:139,843円(内補助金:50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>どの施設に伺った際にも、皆さまに喜んでいただき安心しました。 高齢者施設に伺った際、体調が悪く横になられていた方が、ベッドの上で私達の歌にあわせて口ずさんでくださり、最後にはベッドから起き上がり一緒に歌って下さったことにはびっくりしました。 障がい者施設では、ライブの最初から大盛り上がりで、素直に心から楽しんでくださるその人なりの様子が見られ感激しました。「また必ず来てね」と見送っていただいた姿もかわいくて忘れられません。 こども発達センターでは、発達の遅れがある子どもさんと母子通園しているお母さん達に「私達も障がい児を育てていますよ」と言った途端、皆さん涙ぐんでしまい、最後には「お互いがんばろうね、一人じゃないよ。」というメッセージを送ると、皆さん笑顔を見せてくれました。これは私達のメンバーだけが贈ることのできる、特別な応援歌だと思っています。 障がい児を育て、親の介護をしているメンバーがその経験を生かして、訪問した施設で耳を傾けて下さる人達の心の変化を見つけ、楽しい時間を共有することは、私達の励みにもなっています。本来なら支援を受ける立場の私達が明るく楽しんでいる姿を見ていただくことで、この地域の人達が元気で豊かに生活していけることを願います。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後は、以前にも増していろいろな施設におじゃましたいと思います。豊橋市民病院でのコンサートでは、多くの方が関心を寄せて楽しんでくださり、医療機関の訪問も積極的に行っていきたいと思います。 メンバーの一人は、昨年娘さんを癌で亡くされました。つらい治療と楽しみのない入院生活に治療の意欲さえ無くしてしまったそうです。そんな状況の方々に何かできないかと私達は考え、治療の邪魔にならないような歌や遊びを届ける計画をしています。動くことができない方には、ベッドサイドでのミニライブができないかとも考えています。実は、メンバーの三人が医療職で一人は保育士です。長期入院を余儀なくされている子ども達に歌を届ける事が今後一番の目標です。</p>



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	アロハキッズヨガを体験しよう！
団体名	アロハキッズヨガ とよはし

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事 業を実施した場 合は、実施日時及 び参加者数を必ず 記入してください。	児童養護施設の職員や子どもたちに ALOHA KIDS YOGA を体験してもらい、ヨガの楽しさ、効力を実感してもらった。 実施日時 平成30年8月29日(水) 9:30～ 小1～小3対象 参加者11名 10:30～ 小4以上対象 参加者9名 総事業費： 44,475 円 (内補助金：44,000 円)
事業の成果等 (事業を実施した 結果、どう変わっ たかなど)	子どもたちから「気持ちよかった。」「リラックスした。」「またやりたい。」などの感想がきかれた。 施設職員からは「思春期の子どもたちがやるといいですね。」「集中できました。」などの感想がきかれた。
今後の見通し (事業実施後の課 題、今後の取組み など)	定期的で開催していくことで、ヨガの効果が上がると思われる。施設との振り返りの中で、今後は長期休暇に開催していき、様子を見ながら、来年度以降の定期開催を検討していくこととなった。



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	平成30年度 第8回芦原校区・芦原小学校合同防災訓練
団体名	芦原校区 防災・減災推進委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>事業の実施日時：平成30年6月10日(日) 午前8時～午前11時 会 場：豊橋市立芦原小学校校庭、及び 体育館 参加者数：児童 443・教員 30・保護者約 300・他一般 合計 約 1,200名</p> <p>(内 容)</p> <p>朝8時、市からの「緊急情報伝達システム」にて「校区防災訓練実施」を放送。校区内5町それぞれの集合場所から防災旗を先頭に会場の小学校へ徒歩で避難。各町別に整列・点呼・人員報告。開会式。来賓等挨拶後、各町通学団毎に保護者・児童ペアで30分毎に3ステージの訓練を実施。それ意外の一般も別訓練。AED・初期消火・バケツリレー・屋上避難・DVD、防災用品の取り扱い・怪我人の救出・同搬送訓練。放水・AR(災害想定没入体験アプリ)の体験。最後に保護者による児童の引き取り訓練を実施。</p> <p>総事業費：77,134円(内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>各訓練は児童と保護者が一緒に行動し、共に防災への意識の繋がりが深まった。毎年、中学生も多く参加して後輩を指導し、かつ地域住民との関わりが出来、校区への貢献度が高まった。</p> <p>又、訓練の打ち合わせを何度も行い、自主訓練に相応しく、各訓練をそれぞれが担当し、校区内5町の町民同志の共助の取り組みが一層深まった。</p> <p>尚今回、市民協働補助金のお陰で、愛知工科大学の板宮教授を特別に招聘して市内で初めての「AR教室」を実施出来た事は大きかった。</p> <p>一人一人がゴーグルを持ち、会場の体育館内で火災による煙が発生するのが画面に映り出されるので、上部が下部より煙の濃度が濃いのを立ったり座ったりして体験。どのようにして避難するのが安全かを、感想文で全校の児童が提出。いずれの感想文も「今後に役立てたい」この体験をした事により「自分の身は自分で守る」「命の大切さ」等、将来に渡り持ち続けてもらえる事がうかがわれる。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>大地震がいつ来てもおかしくなく、今後30年間に80%の確率の今の時代。年を追う毎に企画会議、又参加者数の増加など防災意識の高まりが感じられ、地域での広がりを期待出来る。今後も時代に合わせて新たな訓練項目を加える等して、更に今まで参加出来なかった方々が進んで参加出来るように工夫し、「減災」の意識が生活の中により一層、自然に溶け込む文化に出来る様に進め行きたい。</p>



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	今橋歴史塾主催 公開講演 愛知大学 山田邦明先生 「今橋城の歴史」
団体名	今橋歴史塾

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事 業を実施した場 合は、実施日時及び 参加者数を必ず記 入してください。	事業の実施日時：平成31年3月30日(土) 午後1時～午後4時 会場：アイプラザ豊橋 小ホール 参加者数：招待者24・チケット購入者161・会員24 合計 209名 (内 容) 第一部 琵琶語り演奏 演目：「長篠の露」、「山吹」 琵琶語り：村田 青水 演目案内人：鈴木 俊介 第二部 歴史講座(講演) 演題：「今橋から吉田へ」 講師：山田 邦明(愛知大学教授) 総事業費：131,408円(内補助金：50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した 結果、どう変わっ たかなど)	本フォーラムは、今橋歴史塾の活動目標の一つであるこの地域の他の歴史勉強会・サークルの方々との交流を目指して企画したものです。それも少し幅広く、歴史との関係が深い芸能の分野の方々とも交流していきたいと考えています。その意味で第一部の琵琶語り演奏「長篠の露」は長篠の戦での鳥居 強右衛門の話、山吹は太田道灌の若き日のエピソードであり、また演目案内人の鈴木さんの活躍もあり、参加者に大きな感動を与えました。また、第二部は地元の歴史の中に今橋という時代があったこと、その今橋を取ってわが歴史塾の名前になっていることがわかり大変良かったと思います。 本フォーラムの目的は十分に達成できたと考えています。
今後の見通し (事業実施後の課 題、今後の取組み など)	今橋歴史塾にとって初めての歴史フォーラムでしたので、すべて試行錯誤というような状態でした。これを貴重な経験として今後フォーラムを開催するノウハウを蓄えていきたいと思っています。そしてこの地域の歴史を愛する方々と交流を深め、情報交換を行い、それがこの地域の文化活動に貢献できるようになれることを願っています。



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	暮らしの中で考える防災・減災
団体名	東三河防災クラブ

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	汐田校区防災訓練にて、自宅避難に必要なグッズをクイズ形式で紹介するコーナー、チーム対抗で行うバケツリレーコーナーを担当し、楽しく防災知識を学んでいただきました。また、8月に小学生にレクチャーをする中学生に対して徒手搬送・応急手当・紙食器づくりの講座を行い、防災訓練当日は中学生に補助としてつきサポートを行いました。 実施日:平成30年11月11日(日)9:30~10:50 参加者:小学生・保護者、自治会員等(約400名) 総事業費:56,806円(内補助金:50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	東三河防災クラブが担当した両コーナーとも、笑いが絶えず大変盛り上がっていました。 グッズのクイズコーナーでは小学生が積極的に挙手をしてクイズに答えてくれたほか、備蓄品についてはいつもの暮らしの中で少し多く持っておくだけで備えになるということを保護者の方にご理解いただけました。 バケツリレーのコーナーでは、チーム対抗ということで、小学生が一所懸命に声を出して参加してくれました。見ている保護者からの声援もあり、小さな運動会のようになっていました。参加した小学生からは「楽しかった」という声が聞かれました。目的である「楽しみながら防災について学ぶ」ということが達成できたと感じました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取り組みなど)	今回は会員の伝手で汐田校区防災訓練へのアドバイスを含めて参加することができましたが、他の地域の防災訓練についても楽しく学べるものになるようアドバイス等を行っていただけるように、防災危機管理課で各校区へ宣伝して頂くことを含め、団体の存在を周知することに力を入れなければと感じました。 また、地域だけでなく、こども未来館ココニコ等でも楽しく学べる防災啓発活動が行えるよう、働きかけていきたいです。 (平成31年4月19日にココニコにて講座を行いました。)



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	とよはし手話フェスティバル
団体名	とよはし手話フェスティバル実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>事業の実施日時：平成30年9月23日(日) 午後1時～午後4時 会場：あいとぴあ 参加者数：215名</p> <p>(内 容)</p> <p>1 ステージ発表 手話スピーチ、手話コント、手話歌、手話劇 手話パフォーマー トミー&サーヤ</p> <p>2 展示 豊橋手話サークル(4団体)、愛知県手話通訳士協会 愛知県手話通訳問題研究会 豊橋聴覚障害者協会、聴覚障害者就労支援施設そら、放課後等児童デイサービス楓 東三河聴覚障害者支援事業所笑おう舎</p> <p>3 体験コーナー 手話体験、指文字スタンプ体験</p> <p>総事業費：56,312円(内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別々の曜日で活動している市内4つの手話サークルが一堂に会し、手話フェスティバルの開催に向けて協力体制ができた。 ・ともすれば関係者だけの集まりになりがちな障害者関連事業だが、今回は市の補助金を申請したことで広がりを作ることができた。 ・中学生のスピーチ、高校の手話クラブ、大学の手話サークルなどを招き、活動発表の場として達成感が持てた。 ・聴覚障害当事者が日常生活の課題をスピーチやコントで意欲的に表現することで、来場者に聴覚障害者の課題を考えてもらうきっかけになった。 ・複数の市議や市職員の参加があり、手話言語について理解を広めた。 ・とても感動した。来年も開催してほしいとの感想が多くあった。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく決定したばかりの「手話言語の国際デー」に豊橋の手話関係者で何かやろうと思いで集結し実施した。 ・会場のあいとぴあでは、舞台が低く手話や字幕が見えにくいこと、関係者以外の来場をどう促すか、役員に負担になりすぎないような強力体制の構築など実行委員会の成長が必要。 ・今まで「愛知県耳の日記念聴覚障害者と県民の集い」だけで、豊橋市独自の啓発事業はなかった。今後は講習会やサークル、学校の手話クラブで学んだ人たちと聴覚障害者を主体にしたイベントと一緒に作りあげていきたい。また、大きな行事にこだわらず既存の市民行事に参加する形での啓発活動も視野に入れ、傷害のある人ももない人も「住みよいまち豊橋」になるよう協力したい。 <p>豊橋創造大学祭でLGBTに関する映画上映等を実施。</p>



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	ちいきカフェでの子どもと高齢者の居場所交流場所づくり
団体名	ちいきカフェだけのこ

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>第1回9月15日(土)大人41名、子ども26名 骨密度測定(講師ココカラファイン薬局)輪投げ大会 第2回10月20日(土) 大人76名、子ども8名 樹木希林追悼上映会「あん」輪投げ大会 11月4日(日) 駒形町こどもみこし こども20人、大人10人 第3回11月24日(土)大人70名、子ども1名 インフルエンザ対策正しい手洗いの方法(講師ココカラファイン薬局)輪投げ大会 第4回12月15日(土)大人79名、子ども40名 脳年齢チェック(講師だけのこ事務長)輪投げ大会 第5回1月19日(土)大人58名、子ども26名 平成最後の記念作品づくり(指導だけのこ陶芸班)輪投げ大会 第6回2月16日(土)大人63名、子ども25名 良い眠りの方法(講師ココカラファイン薬局他)輪投げ大会 第7回3月16日(土)大人53名、子ども20名便秘のおはなし(講師東三河ヤクルト)輪投げ大会 事業費:222,083円(内補助金:50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>成果評価 地域の高齢者平均 50 名、子どもたちは 25 名が参加をしている。初回から平均して計画以上の参加者が集まってきている。繰り返し参加する割合が多く、参加者は定着してきている。地域の精神障害者グループホームブリリアントの寮生、認知症高齢者グループホーム利用者も地域の人々と垣根なく過ごしている。プロセス評価民生委員、南部地域包括の支援で運営の指導、校区への回覧板の回覧、クリニックや農協、老人会、磯辺小学校へのチラシ配布、地元学童への説明、フードバンクへの登録などの準備が円滑に行われた。当初から駒形町自治会長自治会長 OB が複数様子を見に来るなど地域の支援を受けられた。運営の評価運営委委員 18 名、平均 12 名が交代でボランティアとして運営を支えている。毎回終了後反省会を行い、振り返りと改善点、次回開催の工夫をしている。無理なくボランティア活動が継続できるよう運営委員は自由に意見交換をできている。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>1年目は地域に知ってもらい、徐々に参加者が増えて行けばと考えていた。民生委員の働きかけや、磯辺小学校との関係の中で、一定数の参加者が集まることはできているが、参加した高齢者と子どもが交流を深めるという相互作用はできていない。次年度は、多世代が交流するきっかけとなる企画を工夫していきたい。まだまだ、一人ではアクセスが難しい高齢者や支援を必要とする子どもたちも参加できていない。今後どのように個別にアプローチしていくか、民生委員と相談をしていきたい。送迎面の課題もある。しばらくは情報発信を続け、いつでもだれでも立ち寄れる居場所というイメージを定着させていきたい。</p>



平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	地域子育て互助活動ボランティア養成&実践講座
団体名	一般社団法人 松ぼっくり

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>高齢社会となり、「元気な地域人材」層が豊かになった一方で、少子化による孤立した子育ては深刻である。地域社会に、何か役に立つこととお返しをを考える世代に、「地域で子育て」「自分ごと=ボランティア活動」の視点で取り組む養成講座を開催しました。参加者が「わがこと」として発信できるように、絵本の読み合いや毎回の話し合いを重視した新たなボランティア講座を実施し、最終日にはアンケートを行い、修了証の授与式を行いました。</p> <p>1 11月5日(月)10時~12時講座1「子育て支援の今・昔」講師：豊橋市こども未来政策課大林美依課長補佐 参加：豊橋市市民協働推進課2名 受講生11名</p> <p>2 12月9日(日)13時~16時実践1「笑顔が育む子どもの力・笑顔で現場へ!」(特非)NPOまんま「はう運動あそび」にて実践参加:受講生8名 参加者10家族 子ども16名・大人13名(父3名)ボランティア3名+コーディネーター1名 計41名</p> <p>3 12月12日(水)10時~12時講座2「シルバー・・・が担う地域福祉」講師:河辺順子NPO法人手しごと屋豊橋・田中 受講生 11名</p> <p>4 12月19日(水)10時~12時 講座3「子どもの発達と子育て」講師:福田歌織受講生:10名</p> <p>5 1月20日(日)9時半~44時半実践2「子どものリズム活動に参加&修了式」(特非)NPOまんま「リズムあそび」にて実践 参加 受講生(午前8名午後6名)コーディネーター2名 「リズムあそび」参加者 15家族子ども21名。大人19名(父5名)計50名</p> <p>総事業費:57,285円(内補助金:50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>アンケートでは、意図した成果、やりがい、生きがいにつながる。</p> <p>1 いろいろな講師の話を聴き、自分自身の学び直しになった。2 大勢の親子の一緒にいることの楽しさを体験できた。3 笑顔で、体と心を育てる場の体験が楽しかった。4 「地域を支える力=子育て中の親子支援」を活動に活かしたい。5 未来・地域にこだわって活動したい。ボランティアとして地域で活動してくれる方の育成ができ、協働の輪を広げることができました。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>1 山田公民館をお借りし、新しい「地域発信型子育て互助活動モデル」としてリズムあそびを月1回、日曜日に開催したい。父親や働く母親、就園後の子どもたち、高齢者が参加でき、子どもにやらせるのではなく、自分も楽しんでやることで、成長することを学んでもらう多世代交流居場所づくり 2 お互いに学び合いつつ、楽しく活動することで、埋もれている人材を掘り起こすための「フォローアップ講座」の開催 3 今回の講座は、各自治会の応援をいただき、養成講座の案内チラシの配布や南栄住宅集会所、山田公民館をお借りすることができました。今後、自治会等と一緒に市民協働のまちづくりを発信していきます。</p>



事業名等	10周年記念ええじゃないか！ 豊橋和太鼓フェスタ
団体名	豊橋太鼓連合会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>豊橋太鼓連合会は、「豊橋まつり市民総おどり」の太鼓演奏を始め、各地域で活躍する団体に呼び掛け、平成18年の市制100周年に実施した「とよはし100打!響け!!豊橋和太鼓まつり」をきっかけに平成21年度から第1回ええじゃないか!豊橋和太鼓フェスタを開催してきました。今回10周年記念を開催するに当たり、多くの市民にこの事業を知ってもらい、市民協働推進事業に応募し、市民参加の事業を計画しました。</p> <p>“打てば響く”和太鼓の楽しさをワークショップでこの事業に参加し、同じ舞台で「太鼓ばやし」をみんなで演奏したものです。応募で参加した人に「記念バチやTシャツ」を配布し、今回限定の事業に喜んでいただき、一般参加者100人の募集があり、無事大成功に終わりました。</p> <p>実施事業 ワークショップ 4回実施 (東陽中武道館・ライフポート) (6月10日、7月8日、8月19日、9月30日) 和太鼓フェスタ 日程 平成30年11月11日(日)午前11時開演 実施場所 ライフポートとよはしコンサートホール 参加人数 613人(うち、一般参加100人) 総事業費:1,447,345円(内補助金:300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>豊橋太鼓連合会の役割として、地域で活躍する各団体の継承と次の世代へと引継がなければならない。豊橋の和太鼓を広くPRし、青少年の育成や和太鼓の技術向上を目指し、演奏活動を行なっていくなかで、今回10周年記念和太鼓フェスタに応募のあった100名からのアンケート集計で動機は、「この機会に家族で参加しよう」と「楽しかったから次回も参加したいね」という意見が多く、大成功に終わった。また、今回一般参加者は、豊橋まつりのオープニングにも出演し、叩けば音が出る楽器ゆえに、皆と合わせる一つの音は奥が深い、「楽しく演奏できる機会」こそが、この事業の目的を達成することができました。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>豊橋太鼓連合会が引続き継承しなければならない和太鼓フェスタを豊橋の伝統行事として、多くの市民や学生たちの活躍できる場として取り組んでいく課題の一つである。</p>



事業名等	エキサイティング・シニア・カーニバル in TOYOHASHI 2018」
団体名	エキサイティング・シニア・カーニバル実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>平成30年12月2日(日) 豊橋市総合体育館第2競技場にて開催 出演者・スタッフ80名、有料入場者650名、招待入場者60名 豊橋を中心としたアマチュアおやしバンド12組による音楽コンサート 実施にあたってシニア世代と一緒に歌ったり口ずさめる曲を選んで演奏をしてもらうことで、参加した誰もが青春時代を懐かしみ、見知らぬ人達と一緒に大きな声で歌ったり踊ったりして、会場全体で元気が溢れたコンサートでした。 10周年となった今回は、出演グループを増やし12組・7時間の内容となりました。開演前から多くの方々が来場され、7時間を通して楽しんでいただける内容となりました。企画からまる1年近くの準備と運営を、全てアマチュアのスタッフがこなし開催する例は少なく、多くの方が継続を希望しています。 総事業費:2,156,620円(内補助金:300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>今年は天候も良く、12月ながら暖かい日となって、暖房設備の無い第2競技場でしたが、大盛況な内容となり、準備から撤去まで寒さなどの厳しさが少なく助かりました。10年の継続は多くの方にこのカーニバルの存在が形となり、終演から、次回開催日や出演への依頼などの問い合わせをいただき、皆さんに楽しんで貰えていることを感じました。一つのイベントを通して、普段つながることの無い人達と、出会いと交流があり、もっと多くの人達が集まって楽しめる内容として開催できたことと思っています。この開催を終えて、出演者と観客とではなく、演奏者と観客が一つになれる内容の企画を計画します。シニアを軸としてですが、誰でもが楽しめる開催を考えます。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>カーニバルの名称の内容となるように、共通となる音楽を通して、この場に集まった人達の出会ってから、交流が深まり、年を重ねることが楽しく、充実した人生を過ごすための一部分になればと思っています。 開催にあたっては、人的・経済的・時間的などの多くの難しい問題を抱えています。出来れば野外コンサートにしたいと考えながら、天候に影響されることを心配して体育館での開催としました。長い時間の開催に飲食を準備すること、多くの電力をするための発電機の設置、会場設営・撤去・受付などの開催のためのスタッフの動員など、生活を抱えながらの準備・運営に苦労しています。少ないスタッフでの開催で、数々の反省点を抱えた開催でしたが、今後はもっと仲間を増やし、より楽しいカーニバルの開催が出来るように企画・運営をしていく考えです。</p>

平成30年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート



事業名等	第3回おもしろいがいっぱい！ モノづくりフェスティバル in 豊橋
団体名	木好きらく会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議 など人が集まる事 業を実施した場合 は、実施日時及び 参加者数を必ず記 入してください。</p>	<p>4/17 スタッフ会議(15名) 6/3 拡大スタッフ会議(18名) 7/5 スタッフ会議及び配布パンフレット仕分け(18名) 9/25 拡大実行委員会(25名) 10/7 臨時総会(54名) 10/12 前日準備(30名) 10/13 フェスティバル初日(スタッフ38名 入場者5,000人) 10/14 フェスティバル2日目(スタッフ40名 入場者6,000人) 総事業費：671,599円(内補助金：300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した 結果、どう変わっ たかなど)</p>	<p>今年のフェスティバルでは、案内チラシを40,000枚制作し、市内全小学校児童及び全幼稚園・こども園・保育園児に配布することが出来ました。その影響か、イベント当日児童、園児が家族連れで多数来場して下さいました。主催者の予想に反し、体験コーナーなど長蛇の列が終了時間まで続き、大盛況の2日間でした。主催者側は10,000人程度の来場を期待していましたが、夜間の降雨による足下の悪さにもかかわらず予想以上の方々が来場し、イベントを楽しんで頂くことが出来たと思います。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課 題、今後の取組み など)</p>	<p>来年度第4回フェスティバルの計画は未定です。次年度事業としては、31年6月に「第70回全国植樹祭あいち2019」が愛知県で開催され、豊橋サテライト会場(豊橋市総合動植物園のんほいパーク前広場)で「ふれあい木工コーナー」が開催され、木好きらく会に参加要請がありました。</p>



事業名等	豊橋こども食堂＊なかよし
団体名	豊橋こども食堂＊なかよし

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>1. 事業の概要 (取組内容) 毎月の最後の日曜日に、あらゆる年齢の方が楽しく集い、昼食を共にする催し(子ども食堂)を実施しています。 毎回およそ 40~50 名位の方が参加されます。</p> <p style="text-align: center;">総事業費：82,309 円 (内補助金：52,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>この活動を始めてから2年半以上経過し、飯村地区の子供たちはほとんど子ども食堂の開催を知っており、楽しみにしている子も増えて来ました。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>子ども食堂の事は知っているが、まだ参加できない子も多くいると思います。そういった子どもたちが参加できるように子ども食堂を続けていきたいと思っています。 今後の子ども食堂については、開催規模を拡大するよりも続けていくことが大切であると考えています。</p>



事業名等	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」
団体名	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」

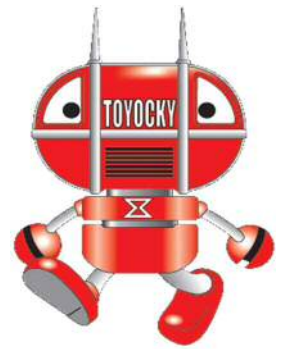
項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>1.事業の概要(取組内容)</p> <p>(1)居場所づくり (前年)</p> <p>① 茶話会 計25回延人員589人(460人)、23.6人/回(19.2人/回)</p> <p>② 手芸教室 計12回開催 延べ128名10.7名(11.4人/回)</p> <p>③ カラオケ教室*毎月第三金曜計12回開催延人員87人、(7.3人/回)</p> <p>(2)お互いさま活動</p> <p>庭木の墮定14件(5件)、病院の付き添い2件(1件)、買い物12件(1件)、蛍光灯取換1件、包丁砥1件、見守り声かけ1件計31件(19件)</p> <p>総事業費:448,014 円(内くすのき補助金:200,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>1 「ひだまりの会」結成後2年半が経過、公民館を中心にコミュニティー活動が各段に活性化できた。</p> <p>2 団地内がにわかに明るく元気なお年寄りの外出する姿が目立つようになった。</p> <p>3 挨拶運動が活発化、お年寄りも子供も元気よく身振り、手ぶりで挨拶している光景が目立つ。</p> <p>4 ひだまりの会で高齢者が、安否確認旗を320本完成させた。団地防災会、団地自治会が、影響を受け、活動が活発化した。2度の訓練経験、次に展開する向こう三軒両隣の組織(班)を完成させた。</p> <p>5 7月より歌声「そよ風」を毎月第二土曜に実施した。狙いどおり参加者数が、平均8.6人(回)増加し、新たな参加者の顔が着実にふえた。</p> <p>6 今後、支え合い活動を立ち上げる多くの他団体への発信力が高まり、見学に来る団体や、講演依頼の要請を受けるようになった。居場所づくりをする新たな立ち上げ3グループのお世話をした。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>1 「男性、子育て世代の参加者が少ない」「参加者が固定化されている」等の課題がある。「そよ風」「健康体操」に多く参加することがわかった。</p> <p>2 H29年度から、団地内の三公園の美化活動にも取り組んだ。ひだまりの会が中心となり、高齢者のボランティア活動として明るく楽しく展開できている。</p> <p>3 お互いさま活動は、定着するためにはもう少し時間がかかる。どうしても還慮しがちのため、日常的な訪問活動を徹底したい。病院の付き添い、買い物に問題がある。(タクシー会社との問題)2月の役員会で「ひだまり号」3台新設することで解決した。</p> <p>4 H31年度は、「園芸教室」「木工教室」、「ウォーキングイベント」(2回/月)を開催する。</p>



事業名等	音楽まつり
団体名	音楽まつり実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>地域住民の絆を強めるとともに地域在住の外国人留学生との交流を目的にした「各種・音楽団体」の発表会です。この音楽まつりを実施することで地域の活性化を促し、参加する高齢者の方々や地域住民の仲間意識を醸成します。</p> <p>幼児から大人、さらには外国人の方も音楽を通して一同に会し、楽器演奏、合奏、合唱、演舞、ダンス、民族芸能を披露して会場を音楽で一体化しました。</p> <p>出演団体の募集期間を4月から7月までとして公募した結果、10団体が決定し、その団体長を実行委員として実行委員会を形成しました。</p> <p>7月31日 第1回実行委員会 8団体参加 8月28日 第2回実行委員会 10団体個人2名 9月1日 4校区「ちらし」回覧配布、地域の各種団体に「ちらし」配布 10月1日 報道機関への告知 11月4日 FM豊橋に実行委員長が出演(20分間) 事業費:471,200円(内補助金:300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>地域の中学校2校の「吹奏楽部」と高校の吹奏楽部の演奏をメインに企画。第4回目という実績から、4校区在住の方々には浸透しており、来場者も年々増加傾向にある。地域が誇る音楽団体「豊橋交響楽団」の演奏も音楽まつりに大きな花を添え、来場者増加の要因に。地域の小学生から大人、外国人留学生の演奏や踊りは、地域交流の良さを参加者も実感できたようである。また、豊橋技術科学大学の留学生のお国紹介も参観者の印象を強いものにして、「世界の花」というテーマをしっかりと咲かせてくれました。毎年、障害者施設の方の発表もあり、他施設からも来年度の参加希望もあり、広がりを見せている。定着には3年かかると言われたが、その成果をみせることができた今回の「音楽まつり」であった。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>演奏者などを公募(地域回覧)しているが、個人の参加希望に対して、全ての希望をかなえるところまではいっていない。また今後、地域の音楽団体を発掘して、さらなる交流につなげていきたい。</p> <p>31年度は体育館施設が体育協会からハマダスポーツへ指定管理が移管されたので、これまでの実績を示して、「音楽まつり」開催へむけてご理解をいただくよう説明したい。</p>

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇みなさまからの寄附と同額を市からも積み立てるので、寄附の効果は2倍になります!

市民協働推進補助金は、トヨッキー基金（市民協働推進基金）から交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課
〒440-8501
豊橋市今橋町1番地(西館4階)
TEL: 0532-51-2483
FAX: 0532-56-5128
MAIL: shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp